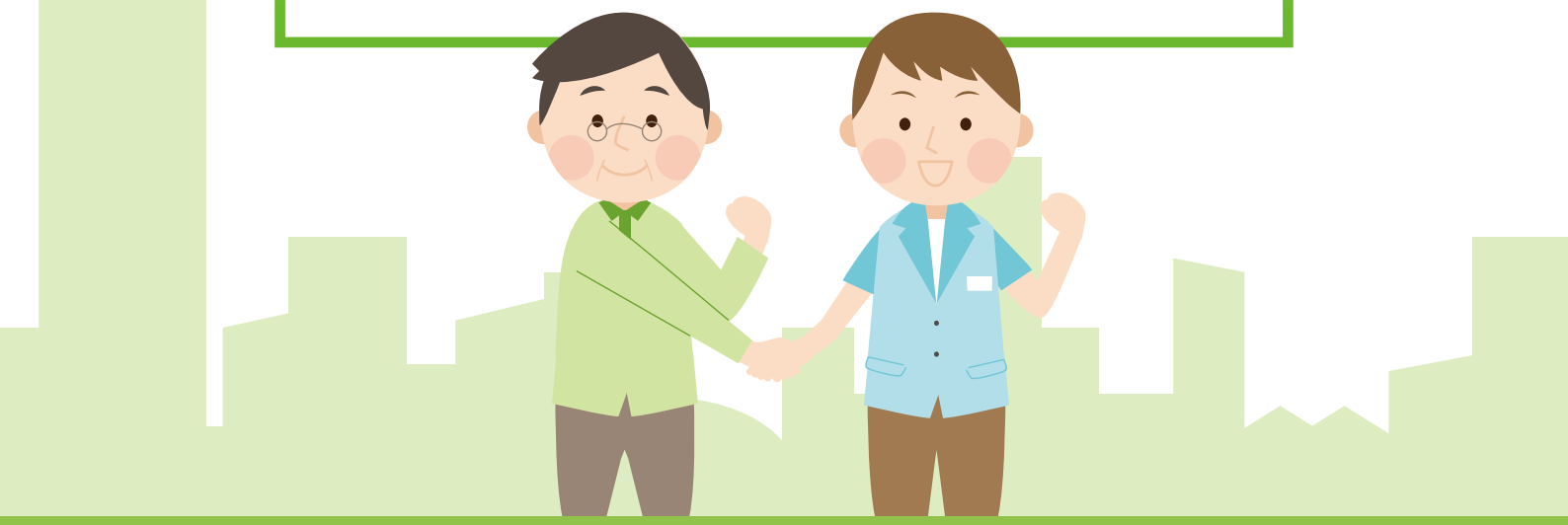
5 参画と協働のための
地域福祉ガイドブック

企業・商店 × 地域

つながる・ひろがる 地域貢献活動



大阪市地域福祉活動推進員会
（社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会）

この冊子は共同募金分配金を活用して作成しています

もくじ

1. はじめに ―― p2
2. 大阪市の現状について
3. 大阪市内における地域での活動と社会福祉協議会について ―― p3
   - 社会福祉協議会ってなに？
   - 大阪市・各区社会福祉協議会とは？
   - 地域社会福祉協議会とは？
4. 企業や商店の社会貢献活動について ―― p4
5. コラボレーションの流れについて ―― p5
6. 事例紹介
   - 事例1 西区「商店街買い物ツアー行こう！フレック！！」 ―― p6
   - 事例2 平野区「スマイル八百屋さん」(移動販売) ―― p7
   - 事例3 都島区「ラムネプロジェクト」 ―― p8
   - 事例4 浪速区「オンテくん子ども食堂」 ―― p9
   - 事例5 此花区「てへぺろキッチン」 ―― p10
   - 事例6 住吉区「あびんこ100円商店街」 ―― p11
   - 事例7 市内各区 企業・団体などの異業種交流会 ―― p12
7. まとめ ―― p13
8. 大阪市・区社会福祉協議会 一覧 ―― p14

ガイドブックを手にとってくださった方へ

▶企業・商店の方々へ

「どんなことが地域貢献？」
「地域と一緒に何かできるかな？」
というイメージをつかむ
きっかけとしてご覧ください。

具体的なご相談は、各区の社会福祉協議会
(広域の案件は大阪市ボランティア・
市民活動センター)まで
お問い合わせください。

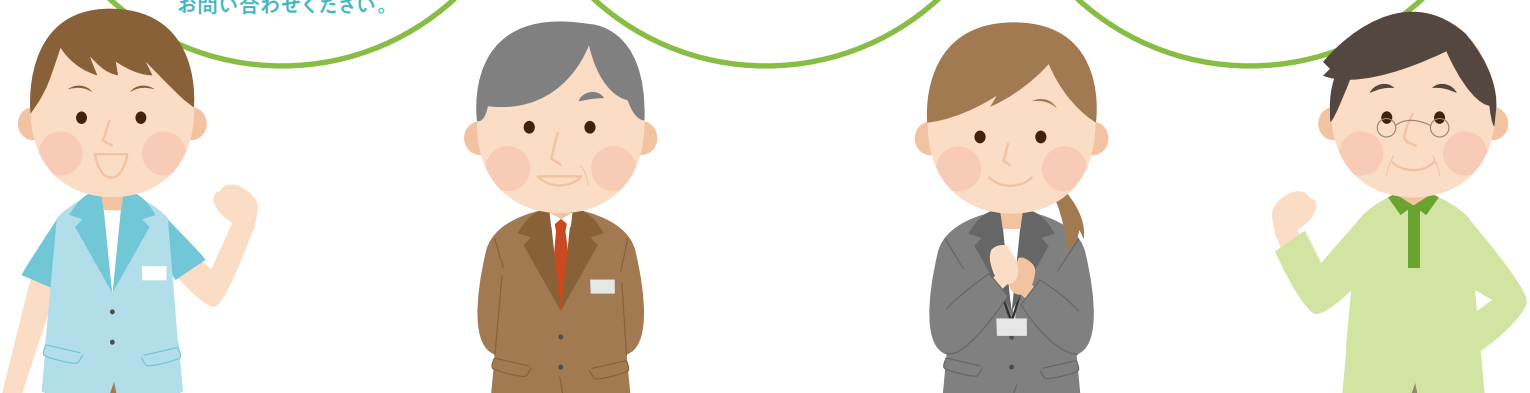
▶地域住民の方々へ

大阪市内の
企業・商店の地域貢献活動を知り、
今後の協働を考えるため冊子として
ご活用ください。

具体的なご相談は、
各区の社会福祉協議会まで
お問い合わせください。

▶社協職員の方々へ

企業・商店と地域のつなぎ役として
さまざまな地域貢献活動を
推進するための
周知・説明資料として。



1. はじめに

大阪市社会福祉協議会と各区社会福祉協議会には、
企業や商店の地域貢献活動と地域で求められている福祉活動をつなげ（コラボレーション）、
福祉課題の解決や地域の活性化につなげる役割があります。
それぞれの地域の特性に合わせたオリジナリティに溢れた取組みにより
さまざまな発見や気づきもあり、取組みが展開されています。
企業や商店の地域参加の機会が増えると、
企業・商店の「やりたい」と地域の「足りない」部分が重なりあい、
さまざまな相乗効果を生み出すことができます。
この冊子では、企業・商店と地域との
コラボレーション事業を紹介することにより、
今後の活動の推進につなげていきたいと考えています。
この冊子でご紹介する事例では、
さまざまな出会いや人間模様が描かれています。

今後どのような変化や成果が生まれるのか
ワクワク度を上げながら、読んでいただければ幸いです。

2. 大阪市の現状について

こども（14歳以下）
292,880人
（2019年10月31日現在）

高齢者（65歳以上）の人口
67,179万人
うち、75歳以上高齢者人口
368,455人
（2019年10月31日現在）

認知症高齢（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上）人口
67,179万人
（2019年4月1日現在）

総人口
2,744,379人
（2020年3月1日現在）

総世帯数
1,442,881世帯
（2020年3月1日現在）

大阪市では、核家族や高齢化が進み、世帯構成や暮らし方が少しずつ変化しています。
複合的な課題を抱える世帯(例：高齢の親とひきこもりの中高年の子の世帯)など、
地域での生活課題は多様化しています。
人口、世帯構成、こども、障がい、高齢、一人暮らし、認知症、生活困窮など、
さまざまな要因が重なり、孤立化することで生活課題が増加しています。
その一方で孤立を防ぎ、支え・支えられ、誰もが安心して暮らせるように、
地域の中では、見守り活動や居場所づくりなど、
長年積み重ねてこられた活動があり、人と人をつなぐ地域づくりにつながっています。
また、大都市ならではの企業・商店の多さも強みです。

3. 大阪市内における地域での活動と社会福祉協議会について

企業・商店の方に、なじみがないかもしれませんので、改めて紹介します。

社会福祉協議会（社協）ってなに？

社会福祉協議会は、
「地域でのボランティア活動」や「福祉に関する相談」などを通じて、
地域での支え合い・つながりづくりをすすめる民間団体です。

□国の法律（社会福祉法）に位置づけられており、市区町村ごとに組織されています。
□専門的な知識をもった職員が、住民一人ひとりの暮らしを支える相談業務や、地域での支え合い活動のサポートを担っています。

区社会福祉協議会の拠点「区在宅サービスセンター」

地域で取り組まれる福祉活動を支援

大阪市・各区社会福祉協議会とは？

社会福祉法に位置づけられた、地域福祉の推進を目的とする、公共性・信頼性の高い民間団体です。
大阪市社会福祉協議会は、広域的な役割を担い、より住民に身近な各区の社会福祉協議会では、
個別支援や地域支援まで多岐に渡る事業を展開しています。

地域を支える

さまざまな団体が取り組む、居場所づくりや見守り活動などに出向き、
活動上の悩みの相談に乗ったり、問題の解決に向けた新たな活動をサポートします。
また、ボランティアをしたい人と、
ボランティアをお願いしたい人をつなぐ役割も担います。

ひとりを支える

窓口や電話、地域に出向いて、困りごとを抱える人の相談を受けつけ、
住民や関係機関と連携しながら、その人らしい暮らしに向けて支援します。
高齢者の相談、生活や家計に困っている人の相談、
どこに相談してよいかわからない、という相談も含めて、まずは受け止めます。
（区ごとに相談機能の実施状況には違いがあります。より適切な窓口にご案内する場合があります）

地域社会福祉協議会とは？

市内には324地域社協があり（任意団体）、地域活動の推進をおこなっています。
概ね各小学校区単位に設置されており、さまざまな福祉活動を通じて、地域住民の顔の見える関係づくり、支え・支えられる関係を構築し、安心安全なまちづくりに取り組んでいます。
それぞれの活動は、地域社会福祉協議会が単独で実施しているものや、
地域の各種団体と共同で実施されているものなどさまざまです。
（地域社会福祉協議会のほかにも、地域活動協議会、地域振興会（町会）など、さまざまな地域団体があります）

地域会館で実施されている
高齢者食事サービス（東成区）

地域会館で実施されている
こどもの学習支援（東淀川区）

4. 企業や商店の社会貢献活動について

地域の活動者が抱えている困りごとは、
「ヒト」「モノ」「カネ」「場所」「参画」
に関することが多くあります。
それに対して、企業や商店として力になれることもあります。

「ヒト」	人手不足	行事への協力、イベント企画の合同開催など
「モノ」	持ち出しできる物品がない	グッズなどの作成や提供、バザーへの物品提供 イベントやプログラムの提供や協賛
「カネ」	活動資金がない	基金や寄附金、協賛金
「場所」	活動場所や発表	空きスペースの提供
「参画」	マンネリ化、孤立化 社会参加の場所の不足	地域行事の周知協力、イベント企画からの参画 イベントやプログラムの提供や協賛

5. コラボレーションの流れについて

企業・商店と地域がコラボレーションするには、多くの場合、誰かが「つなぎ役」になっています。
例えば区社会福祉協議会へ相談することでこんなコラボレーションの流れをつくることができます。

企業・商店

「地域住民とどうやってつながったらいいの？」
「地域のために何かしたい」
「地域を応援したい」

相談

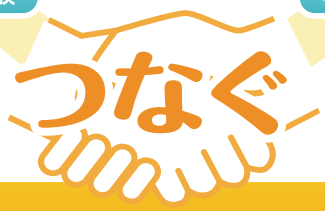
信頼度アップ
知名度アップ
やりがい度アップ

地域

「活動がマンネリ化してきた」
「新しい活動をしたいけど〇〇が足りない」
「地域のために応援してほしい」

相談

顔の見える関係
お互いが知りあえる
地域活動の活性化



区社会福祉協議会

コラボレーション

新たな活動が生まれる 取組みの活性化が図られる

- 地域が元気になる
- 顔見知りが増える
- 新たな発見や気づき

- 仲間が増えて、コラボレーションの輪が広がる
- 安心・安全なまちづくりにつながる
- 新たな地域課題の解決に向けた取組みの展開へ

区社会福祉協議会では、それぞれの協力者と出会い・話し合いの場などを設定し、
よりよい取組みとなるよう、さまざまな支援や調整をおこないます。
次のページからは、企業や商店ならではのできること「強み」を活かし、
地域とともに活動を展開している事例や新たな活動へとつながった事例を紹介していきます。
カタログのようにめくりながら「どんなことができるかな？」というイメージをふくらませてみてください。

事例 1

西 区

買い物の楽しさをもう一度 企業と地域の連携

商店街買い物ツアー 行こう！フレック!!

企業 × 地域 × 区社協

ちょっとしたサポートが
地域活性につながる

地域

地域見守り
コーディネーター

昔から住み続けている人が
多く、地域住民のきずなが強い。
日々の見守り活動で、
外出が難しくなってきている
高齢者が増えたと感じている。

介護事業所

スーパー
「フレック九条」

自分たちの強みを活かした、
地域貢献活動を展開したい。

西区社会福祉協議会

つなぐ

区社協が呼びかけた
「九条北地域知ろう～地域診断編～」
という話し合いの場がきっかけ。
その場で出た「足腰が弱くなり、
一人で買い物に行くことが
難しくなった方の支援がしたい」
という地域の声から企画

一人ひとりのペースに
合わせて支援することで、
きずなが深まり、
安心して暮らせる
まちづくりにつながる。

さまざまな方とつながり、
各々の立場で
強みを発揮できる

どれにしようかな…
相談しながら商品を選ぶのも
買い物の楽しみのひとつ

道中も一緒なので安心！

スーパー「フレック九条」として…

買い物ツアーを実施するにあたり、
事前に支援者となる方々とスーパー内の
下見をしました。
参加者が買い物で疲れたときに
休むことができるよう車いすを準備するなど、
皆様と入念に準備したことで、
たくさんの気づきがありました。

利用者からの声

- 一人で買い物に行って、買い物カゴをひっくり返して
  周囲に迷惑をかけたこともあったが、
  安心して買い物を楽しめた。
- いつもは一人では重くて買いにくいものを、
  買うことができてうれしい。
- いろいろな売り場を回りながら、会話しながら買い物できて、
  とても楽しかった。

ポイント・大切にしていること

- たくさんおしゃべりをしながら買い物を楽しむことで、
  きずなを深め、なんでも相談できる関係を築いています。
- ちょっとした支援があることで
  安心した生活を過ごせる方がいます。
  今後も地域一体となって
  支え合うしくみづくりをめざします。

事例 2

平野区

介護保険ではなく、
地域連携でインフォーマルなサービスを構築

スマイル八百屋さん（移動販売）

事業所 × 企業 × 地域 × ボランティアグループ × 区社協

事業所の思いと
地域の悩みが一つに

独居高齢世帯や高齢夫婦世帯が増えているなか、
ありがたい取組み。
地域の回覧板や掲示板で情報発信の協力ができる。

大型スーパーはあるが、
足が悪いので買い物が不便。
おまけに銭湯に行くにも1時間かかる。

「新鮮な野菜や調理方法」
など対面販売ならではの
強みを活かすことができる。

地域住民　施設　地域住民　利用者　大阪㊤青果（株）

情報発信　情報発信　情報発信

ボランティアグループ「The 男組」　地域　介護センター「スマイルプラス」　小林新聞舗　森永乳業　平野東住吉ミルクセンター

近隣で営業中。
何かお手伝いできれば。

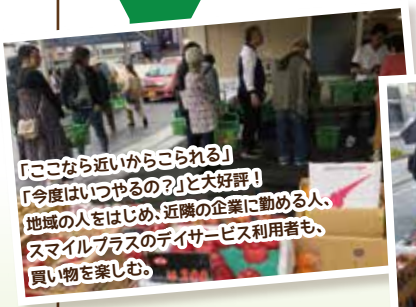
地域の交流の場の
一つとして定着し、
何か起きた時に
支えあえる関係をつくる

平野区社会福祉協議会

つなぐ

地域のニーズ・特性を踏まえて、
団体の思いや強みを地域に伝える。
また、定年退職後の仲間づくりとして、
区社協が始めた「The 男組」
（ボランティアグループ）につなぎ、
買い物袋を運ぶ
ボランティアとして活躍。

事業所の移転をきっかけに、
新しい地域でも
親しまれる存在になれるよう、
喜んでもらえることをしたい。
介護保険でなく、
インフォーマルなかたちで
改善できないものか。
八百屋の移動販売による
成功事例を
聞く機会があった。
「平野区でもやりたい」



「ここなら近いからこられる」
「今度はいつやるの？」と大好評！
地域の人をはじめ、近隣の企業に勤める人、
スマイルプラスのデイサービス利用者も、
買い物を楽しむ。

新鮮な旬の野菜が、安い！

開催日時・場所

- 毎月２回開催（主に水曜日）11時～13時の間
  ※詳細については、平野区社会福祉協議会にお問合せください。
- スマイルプラス事業所前のスペース
  住所：大阪市平野区平野馬場2-2-26 スマイルプラス駐車場

介護センター「スマイルプラス」として…

『今後、男組さんと若年性認知症の利用者さんで
夏には屋台を出して一緒に楽しめればいいな～』

大阪㊤青果㈱として…

ご近所の方が「久しぶり～」と集まる井戸端会議の
環境づくりに社会貢献としてやりがいを感じています。

エピソード

- 認知症対応型デイサービスが
  買い物ツアーを組んで来たり、認知症初期集中支援事業の
  「オレンジチーム」が認知症の人と同行して来られます。
  「若年性認知症の方がいきいきとした表情になって嬉しい」
- 提携する青果店のスタッフも張り切り
  「野菜の冷凍の仕方や、おいしい料理の作り方を伝えたい」
  と笑顔で対応。対面販売ならではのやりとりが楽しめる。

ポイント・大切にしていること

- 「ここに行けば、介護の相談もできる」ことを
  知ってもらえる。
  同時に、認知症の理解を地域に広めていきたい。
- 介護事業所が地域の社会資源のひとつとして、
  困難を抱えている方々が安心して暮らせる
  お手伝いをしていきたい。

事例 3

都島区

ラムネを通じ地域行事などで募金に参加

ラムネプロジェクト

地域・施設 × 企業 × 区社協

自分たちのまちは
自分たちでよくする

地域・施設

地域や
施設の協力のもと
イベントなどで販売。

共同募金

共同募金の認知度の
低さなどを背景に
募金額が減少している。

ハタ鉱泉株式会社

地域貢献のために
企業として協力。

都島区社会福祉協議会

つなぐ

企業の賛同を得て、コラボ商品
「みやこりんラムネ」を開発！
区社協のマスコットキャラクター
「みやこりん」のラベルを貼ったラムネを
地域行事などで販売し、売上げの一部を
共同募金に充て、地域に還元するしくみ
※販売数に応じた募金額
（一本150円の内、約半額が募金になります）
を地域行事等へ助成します。

地域に関わる
きっかけづくり

地域活動安定
のための財源

施設での販売（cafe JIN）

地域での販売（大東さくらまつり）

施設での販売（Cafe Mahoroba）

ハタ鉱泉株式会社として…

- 企業として募金に協力できる。
  また、募金は区内の地域に
  還元できるしくみなので、
  企業による地域貢献となる。
- 地域行事での販売の際には機材などの
  貸出にも協力。

効果や成果

- 募金になじみの薄いこどもたちや大人にも
  募金への参加、関心を持ってもらえた
- 地域行事でラムネを販売することにより、
  区社協マスコットキャラクター
  「みやこりん」や都島のラムネのPRができた

ポイント・大切にしていること

- 販売実数に応じて、
  地域に配分し、
  地域活性化につなげている。
- 共同募金の趣旨である、
  自分たちのまちを自分たちで
  良くする仕組みづくりをめざす。

事例 4

浪速区

地域住民の新たなつながりをつくる

オンテくん子ども食堂

企業 × 地域 × 学校 × 区社協

地域のこどもは
地域で育てる・見守る

地域

地域住民

・気になる子どもがいる
・新たな子どもたちとの交流
・見守りの場を作りたい

株式会社オンテックス

CSR活動への積極的な取組み。
本社がある浪速区住民のために何かしたい。
こども食堂に取り組んでみたい！

小学校

浪速区社会福祉協議会

一人ひとりが
「人」として大切にされ、
小さな助けてサインや
周囲の気づきが
相談につながるような
場を増やす。

地域活動安定
のための経費確保

つなぐ

平成29年度から
『居場所づくりプロジェクト』を実施。
多様な団体による居場所づくりを
側面的に支援している。
こども食堂の開設に向け、
地域、学校、企業の打合せの場を設定。
区内外のこども食堂を視察し、
活動のイメージを膨らます
きっかけに。

平成29年3月から開始し、
令和2年2月で35回目になります。
毎回、おいしいカレーを提供し、
こどもたちの健やかな成長を見守っています。

会場は大勢の参加者でにぎわっています。

開催日時・場所

- 毎月第４土曜日の
  正午～午後２時
- こども無料（１回約５０食）
- 本社１階ロビー
  住所：大阪市浪速区湊町 2-2-45
- 社員が
  ・カレー会場設営
  ・調理
  ・受付　　を担当

株式会社オンテックスとして…

続けるうちに、こどもだけでの参加や社員とふれあう姿も見られるなど、安心できる居場所になっています。また、活動をきっかけに、他団体との関係づくりや他の社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

大阪市消防局へ
消防車とマイクロバスを寄贈

浪速区内の
公園遊具の塗装

効果や成果

- 「終わった後、楽しい気持ちで家に帰ることができる場所」との声が聞かれるなど、こども・保護者・スタッフの心に豊かさをもたらす居場所となっています。
- こども食堂を立ちあげたい企業の見学も受け付けており、ノウハウを伝えています。
- 社員の勤務日と開催日を合わせることで、社員が積極的に参加できる環境づくりをおこなった結果、社員が積極的に参加するようになり、地域の子どもたちと顔見知りの関係になっています。
  こどもたちからお礼のお手紙をいただくことも♡

ポイント・大切にしていること

- 子育てにやさしい浪速区を
  区内全域でつくる。
- この取組みにより
  地域活動に参加する
  新たな人材が増えているので、
  活動の育成・定着を
  図っていきたい。

事例 5

此花区

認知症によるまちがいが許される
地域づくりをめざした広域的な連携

てへぺろキッチン

高齢者施設 × 企業 × 区社協

応援したい！
やりがいを！

てへぺろキッチンは、認知症当事者の方々がホールスタッフをつとめるレストランです。
東京で開催された「注文を間違える料理店」に影響を受け、此花区でも実施したいと考えた施設と区社協が中心となって
企業やボランティアグループなどの協力を得て実施しました。

施設

ボランティア
グループ

社会福祉法人
ラヴィータ

SNSで認知症の当事者の方々が
いきいきとされている姿を見て、
「ぜひやってみよう！」

認知症の人が接客を担当

企業（レストラン）

場所の提供

株式会社ケーエスケー

人材と資金の援助

クラフト株式会社
さくら薬局グループ

「人生に寄り添い、
地域の健康寿命をのばす」
ことがさくら薬局のビジョン！
従業員が認知症キャラバンメイト
としても活動中

地域密着企業として
「認知症や高齢者の方も
住みやすいまちづくり」をめざして
多くの方に認知症についての理解が
深まるような地域活動をしたい

此花区社会福祉協議会

つなぐ

此花区全体に
「てへぺろキッチン」の
輪を広げたい。
企業や施設など協力者を
増やす、つなぐ。

理解が広がり、
誰もが安心して
暮らせる地域に

さまざまな方と
つながり、
各々の立場で
強みを発揮できる

ウェイター・ウェイトレスとして活躍。
和やかな雰囲気で笑顔が広がります。

企業としてのメリット

- 地域活動に参加することで、
  薬剤師が薬局以外の場で社会貢献できる。
- スタッフが専門性を持つための
  良いきっかけとなる。
- さまざまな団体と地域活動をおこなうことで、
  地域住民の方とつながることができる。

効果や成果

- 認知症になると不安が多くなることが多いですが、
  このようなイベントがあれば目標ができ、生活にもハリが出ます。
- このような活動を通して当事者や専門職などと関わることで、地域でどのように健康が保たれているかリアルに感じることができました。

ポイント・大切にしていること

- 企画の段階から企業と協働していくことで
  単に参加しているのではなく、
  積極的な参加意識を生み、
  やりがいを感じてもらうことができる。
- 直接的な体験で、
  人が人を支え合う大切さを実感できる。

事例 6

住吉区

みんな集まってお得に買い物！
気軽に仲間づくり！

あびんこ100円商店街

商店街 × 地域 × 施設 × 区社協

商店街のにぎわいで
まち全体を元気に！

いろんな人と出会い、
おしゃべりしながら買い物を楽しめる。
１００円でお得な買い物もできる。

地域住民　地域

普段からなじみのある
お店として、たくさんの人に
利用してもらいたい。

企業・商店

スポーツを通して社会貢献したい。
プロ選手と地域住民と
顔のみえる関係づくり。

スポーツチームなど

学校　行政

地下鉄あびこ中央商店街

郵便局

住吉区社会福祉協議会

募金・寄附文化の醸成を
住民に拡めるきっかけづくりとして、
商店街で共同募金街頭募金活動を実施。

つなぐ

いろいろな企業や商店に
参画してもらい、
商店街を盛りあげたい。
商店街に人が集まり、
活気にあふれた
まちにしたい。

社会福祉法人　四恩学園

こども食堂など、様々な福祉活動に
支援をいただいている。
商店街との関係を通じて、
様々な関係機関と繋がることができ、
福祉活動の啓発や
すみ良い街づくりに向けて、
地域にある社会問題を協議しながら、
協働的に実践している。

企業や商店が
「お互いさま」の精神で
商店街を盛りあげ、
まちやコミュニティの
活性化につなげる

100円商店街とは…

商店街全体を100円ショップに見立て、参加する商店の店頭で100円商品を販売するイベント。
市内21地域52商店街（実数）で実施されている。
新規顧客の確保や集客効果以外にも、コミュニティの活性化や世代間交流の場にもなっている。

沖縄エイサー演舞のパフォーマンスで
会場を盛り上げています

人気のお総菜屋さん。お店の前にたくさんの人が！
お得なクーポン券が入っていることも

開催日時・場所

●年3回　●11時～

（詳細はあびこ中央商店街のＨＰでお知らせします）

住所：大阪市住吉区苅田5丁目13-14
地下鉄あびこ中央商店街

あびこ中央商店街ＨＰをチェック！
ぜひ、あびこ中央商店街に
足を運んでみてください。

成果や効果

●お客さんも企業・商店も、お得感や充実感が得られるとともに、
人と人とのつながりが拡がっている。

●おじいちゃん、おばあちゃんがお孫さんと来られ、世代間交流の場になっている。

●地元の中学校吹奏楽部がミニコンサートをおこなったり、
沖縄エイサー演舞などのイベントにより、毎回多くの住民等でにぎわっている。

●他都市などへ引っ越した人も、
商店街のイベントをきっかけにその日は地元に戻ってくる。

ポイント・大切にしていること

●商店街の役員・会員や参画団体が、
「あびこを盛りあげよう」という
共通の目標をもって、
支え合いながら取り組んでいる。

事例7

市内各区

企業とNPO等団体のマッチング

企業・団体などの異業種交流会

交流の場
出会いの場

企業×NPO×地域団体×教育機関×行政

出会う機会がない。でも、つながりたい！

教育機関（学校園）

行政

企業・商店

交流の場（社協）

NPO・地域団体

【想い】
地域貢献・社会貢献をしたい。
地域とつながりたい。

【強み】
ヒト・場所・スキル（専門性）・モノ・資金など

【弱み】
地域や活動団体を知らない。

つなぐ

お互いの強み・弱みを補う。
ニーズをマッチングする。

【想い】
一緒に行事・事業を盛りあげたい。
活動を知ってもらいたい。

【強み】
地域課題に敏感。
ネットワークがある。

【弱み】
マンネリ。人材不足。

事例❶ にしよどリンク（西淀川区）

「福祉」をテーマにした情報交換会。参加者主体でグループワークだけではなく団体や個人の思いを30分間でプレゼンする「プレイヤーズタイム」もあり、にしよどリンクをきっかけとした新たなコラボ企画が次々と生まれている。

事例❷ 企業・NPO交流会 in Fukushima（福島区）

顔の見える関係づくりをめざした企業とNPOの交流会。交流会をきっかけに地域のイベントのサポートや災害時に使える印刷機デモカーの貸出、講演会の会場提供など、企業の強みを活かした活動が広がっている。

事例❸ 地域活動応援サークル（住之江区）

企業・NPO交流会から発足した、業種を超えた社会人のボランティアサークル。地域活動を盛りあげていくため「プロボノ」と「イベント」の2分科会が立ちあがる。自分たちの「強み」を活かして地域活動を応援している。

事例❹ 中央区フィランソロピー懇談会（CFK）

中央区の企業やNPO、学校などを中心に構成された懇談会。まじめに雑談「まじざつ」をベースに、企業スキルを活かした地域での出前講座や東日本大震災復興支援をテーマとしたCFKチャリティフェスティバルに取り組んでいる。

7. まとめ

企業・商店×地域、その出会いにむけて

大阪市地域福祉活動推進委員
大阪成蹊短期大学　鈴木大介

さまざまな企業や商店が地域にあります。
それらの方々はその地域を拠点にそれぞれの業種にちなんだ経済活動をおこなっています。
経済活動と福祉・ボランティア活動。少し前までは両者の間にはつながりがないように“思われて”いました。

しかし多くの企業・商店の方は、「何か社会のためにできることはないだろうか」という思いを持っています。
たとえば自然災害が発生した時、多くの企業・商店が自分たちの得意とする分野・担える手法で復興活動の支援をおこなっています。
それはまさに企業・商店が持つ「社会のために！」という思いそのものであるといえます。
加えて、企業・商店の方は業種にともなう専門知識や技術、営業に用いる店舗(場所)や機材などももっています。
それらの企業・商店の思いなどを、「日常」のなかで紡いでいく場として、「地域」は身近な舞台となり得るのです。

地域ではさまざまな活動がおこなわれています。
生活課題を抱える住民へのサポートや防災活動、美化活動や振興活動などその内容は多岐に渡り、まちの生活を支えています。
反面、担い手の固定化･減少化が進み、普段の活動や新たに見えてきた問題に柔軟に対応することが難しくなってきています。

しかし企業・商店がもつ知識や技術、場所や人材、営業形態など、そのひとつひとつの要素に目を向けてみると、
地域の課題に対する「柔軟かつ多様な活躍場面」が浮かび上がってきます。
企業・商店のもつ強みは、地域の人たちにとって心強いものなのです。

このハンドブックではそれらの活躍場面とそこに至る工夫をまとめています。
そこでは、企業・商店と地域だけでなく、
学校や施設、NPOなどまざまな人たちが、「地域に住まう人たちのために」活動をおこなっています。
企業・商店と地域が手を組みながら、同時に相互に協力し合える仲間を見つけ、「生活」を支える活動を創りあげていく。

**今まで福祉と関わりが無いと“思われていた”方々との
「出会い」を実現し協働のもと力を合わせていくことが、
今後の地域福祉活動にとって大きな推進力の一つとなってくるといえます。**

大阪市社会福祉協議会が発行した冊子

大阪市社会福祉協議会が発行した関連冊子

平成27年10月発行
見守り活動の手引き
(大阪市民生委員
児童委員協議会と協働発行)

平成28年11月発行
地域とともに暮らしを支える
『見守り相談室』活動報告書

平成30年3月発行
大阪市地域福祉活動
推進計画

企業の社会貢献活動と社協連携
企業等ネットワーク構築
ハンドブック

平成31年度発行　参画と協働のための地域福祉ハンドブック

①身近な地域で
　気づく・つなぐ・話し合う

②わかもの× 地域
(10代~20代が活動に
参画するためのコーディネート)

③社会福祉法人の
地域における公益的な活動
(参画と協働の方策)

見守り活動の
ちょこっとお助けブック

8. 大阪市・各区社会福祉協議会 一覧

大阪市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10
市立社会福祉センター内

●大阪市社会福祉協議会

TEL 06-6765-5601（代表）
ホームページ
https://www.osaka-sishakyo.jp

●ボランティア・市民活動センター

TEL 06-6765-4041
ホームページ
https://ocvac.osaka-sishakyo.jp

区社会福祉協議会名	所在地			電話番号
北　区 社会福祉協議会	〒530-0026	北区神山町15-11	いきいきネット	06-6313-5566
都島区 〃	〒534-0021	都島区都島本通3-12-31	ふれあいセンター都島	06-6929-9500
福島区 〃	〒553-0001	福島区海老江6-2-22	あいあいセンター	06-6454-6330
此花区 〃	〒554-0002	此花区伝法3-2-27	此花ふれあいセンター	06-6462-1224
中央区 〃	〒542-0062	中央区上本町西2-5-25	ふれあいセンターもも	06-6763-8139
西　区 〃	〒550-0013	西区新町4-5-14	にしながほり	06-6539-8075
港　区 〃	〒552-0007	港区弁天2-15-1	ひまわり	06-6575-1212
大正区 〃	〒551-0013	大正区小林西1-14-3	大正区ふれあい福祉センター	06-6555-7575
天王寺区 〃	〒543-0074	天王寺区六万体町5-26	ゆうあい	06-6774-3377
浪速区 〃	〒556-0011	浪速区難波中3-8-8		06-6636-6027
西淀川区 〃	〒555-0013	西淀川区千舟2-7-7	ふくふく	06-6478-2941
淀川区 〃	〒532-0005	淀川区三国本町2-14-3	やすらぎ	06-6394-2900
東淀川区 〃	〒533-0022	東淀川区菅原4-4-37	ほほえみ	06-6370-1630
東成区 〃	〒537-0013	東成区大今里南3-11-2		06-6977-7031
生野区 〃	〒544-0033	生野区勝山北3-13-20	おかちやま	06-6712-3101
旭　区 〃	〒535-0031	旭区高殿6-16-1	あったかセンター	06-6957-2200
城東区 〃	〒536-0005	城東区中央2-11-16	ゆうゆう	06-6936-1153
鶴見区 〃	〒538-0051	鶴見区諸口5丁目浜6-12		06-6913-7070
阿倍野区 〃	〒545-0037	阿倍野区帝塚山1-3-8		06-6628-1212
住之江区 〃	〒559-0013	住之江区御崎4-6-10	さざなみ	06-6686-2234
住吉区 〃	〒558-0021	住吉区浅香1-8-47	いきいきセンター	06-6607-8181
東住吉区 〃	〒546-0031	東住吉区田辺2-10-18	さわやかセンター	06-6622-6611
平野区 〃	〒547-0043	平野区平野東2-1-30	にこにこセンター	06-6795-2525
西成区 〃	〒557-0041	西成区岸里1-5-20	はぎのさと	06-6656-0080

令和2年3月

5 参画と協働のための
地域福祉ガイドブック

企業・商店 × 地域

つながる・ひろがる 地域貢献活動

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
〒543-0021　大阪市天王寺区東高津町12-10
TEL:06-6765-5606　FAX:06-6765-5607
ホームページ:http://www.osaka-sishakyo.jp